

拠点名：ぎふ技術革新センター

全体構想： 航空機・自動車向け軽量化部材（CFRP：炭素繊維複合材）や環境調和型製品、高度医療機器、機械金属等を主な対象分野に、共同研究や人材育成、機器利用などを通じ、企業の優れたモノづくり技術やノウハウを成長分野へ展開し、産業構造の多様化・高度化を目指す。

期待される地域活性化

- ・対象分野の産学官共同研究の推進
- ・航空機分野における「部材の品質評価」や「認証取得支援」、「企業間マッチング支援」、医療機器分野における「薬事取得支援」、「企業間マッチング支援」等を通じた事業化推進、産学官共同研究を通じた技術シーズの育成と研究成果の事業化推進
- ・航空機部材加工への新規参入や部材サプライヤーへの発展、海外との直接取引の実現に向け、各企業のレベルに応じた支援、産学官連携活動を実施
- ・医療機器部材産業への新規参入、部材提供型企業から最終製品販売型企業への発展、一定の世界シェアを持つ医療機器メーカーの創出
- ・航空機部材研究会等の関連事業実施による人材育成支援。拠点での地域密着型研究事業の実施による大学と中堅・中小企業との共同研究等の推進

主な共同研究開発課題

本拠点を通じて、企業ニーズオリエンテッドな産学官共同研究を実施し、大学等有する技術シーズの活用・育成を強力に進め、地域の大学研究者や企業技術者等の集積をさらに高めていく。また、航空機や自動車の軽量化部材の加工・接合・組立技術、医療用刃物やカテーテル等の医療機器及び環境調和型セラミックス、金属部材等の研究開発や試作、新たに設置した機器を活用した分析・評価等を行うことで、現在実施中の産学官連携プロジェクトを加速することはもとより、新たな研究テーマを創出するための可能性試験を実施し、「航空機」、「医療機器」、「環境関連」分野への地域企業の展開をさらに推し進め、本県におけるモノづくり分野の産業構造の多様化・高度化を進めていく。

【航空機】 地域イノベーションクラスタープログラム等の研究を基盤に、航空機等の軽量化部材について「低コスト化、高速化に対応した加工技術の開発」や将来の自動車分野への技術転用を睨んだ「低コストで量産化可能な技術開発」を進める。また、品質評価面では、内部欠陥検出のための非破壊検査方法の確立や疲労強度、耐候性等の材料特性の解明等を強化していく。

【医療機器】 地域イノベーションクラスタープログラムの研究を基盤に、特に今後は医療機器の高付加価値化や高機能化に向けた研究開発を推進する。

【環境調和型セラミックス】 地域イノベーションクラスタープログラム等の研究を基盤に、特に今後はより低コストな成形技術の開発や異種材料の複合化による高機能化を推進する。

提案機関：

- 官：岐阜県
- 学：国立大学法人 岐阜大学、国立大学法人 名古屋工業大学、学校法人 大同学園 大同大学
独立行政法人 国立高等専門学校機構 岐阜工業高等専門学校
- 産：社団法人 岐阜県工業会、社団法人 岐阜県経済同友会、岐阜県機械金属協会

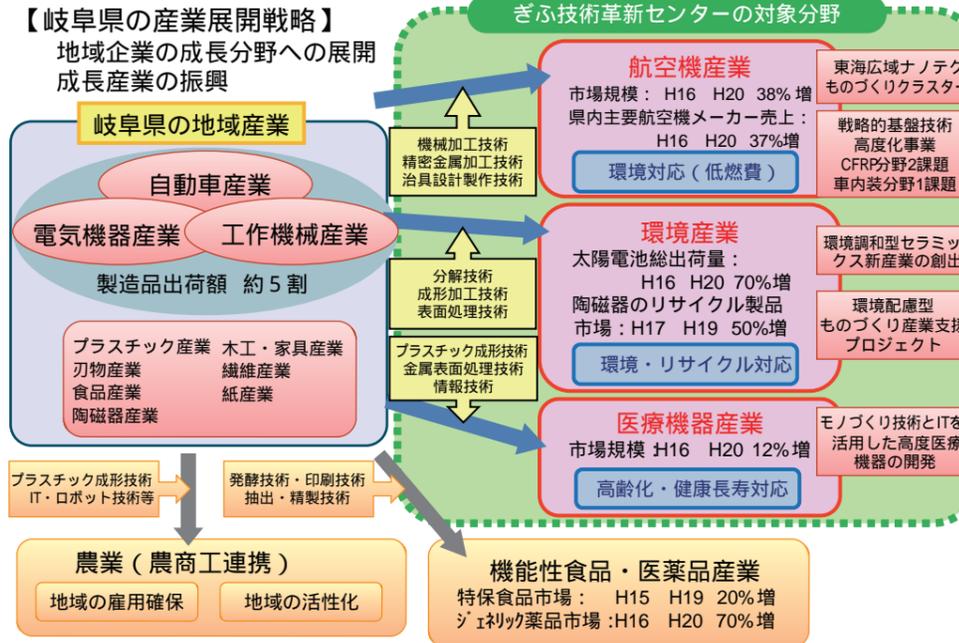
参画機関： 航空機・自動車関連企業、医療機器関連企業、機械金属企業、岐阜大学、名古屋工業大学、大同大学、岐阜工業高等専門学校、岐阜県等

運営体制：

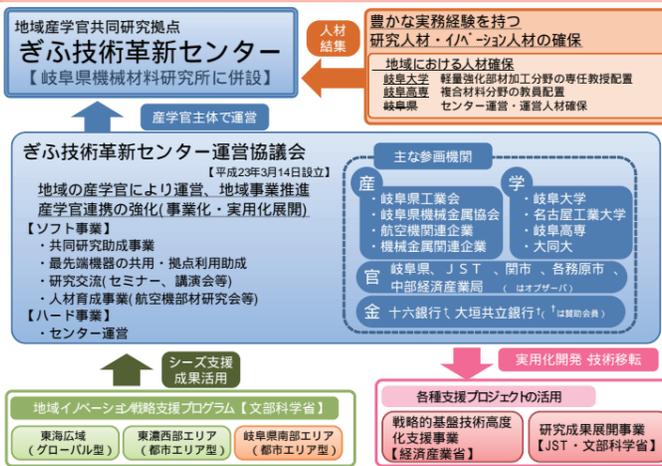
- 事業運営委員会：ぎふ技術革新センター運営協議会
- 会長 村山滋（川崎重工業（株）航空宇宙カンパニー プレジデント）
- 副会長 森秀樹（国立大学法人岐阜大学 学長）古田肇（岐阜県 知事）
- 理事 10名程度

拠点事務局 岐阜県総合企画部研究開発課 岐阜県岐阜市藪田南2-1-1 拠点設置場所 岐阜県関市小瀬1288
Tel.058-272-1111（内線2487） Tel.0575-22-0147

優れたモノづくり技術やノウハウを成長分野へ展開・産業構造の多様化・高度化



拠点を核とした産学官協働による成長分野への展開加速戦略



ぎふ技術革新センターにおける主な活動

- 共同研究**：航空機・自動車用の軽量化部材、医療機器、環境調和型製品等の研究開発
- 人材育成**：航空機部材研究会等の人材育成事業の実施、連携大学院や研修制度による大学院生、産業人材の育成、団体、研究所、企業等による研修・講演等の開催
- 共同機器利用**：加工、物性評価、試験にわたる研究設備（40機）の共同研究や企業、研究者等への開放
- 産学官連携推進**：共同研究の企画立案、企業ニーズ分析とシーズとのマッチング強化
- 理解増進**：研究成果の展示や所内見学会など、モノづくりへの関心を引き出す活動の展開



ぎふ技術革新センター